

広報 すぎなみ

Suginami



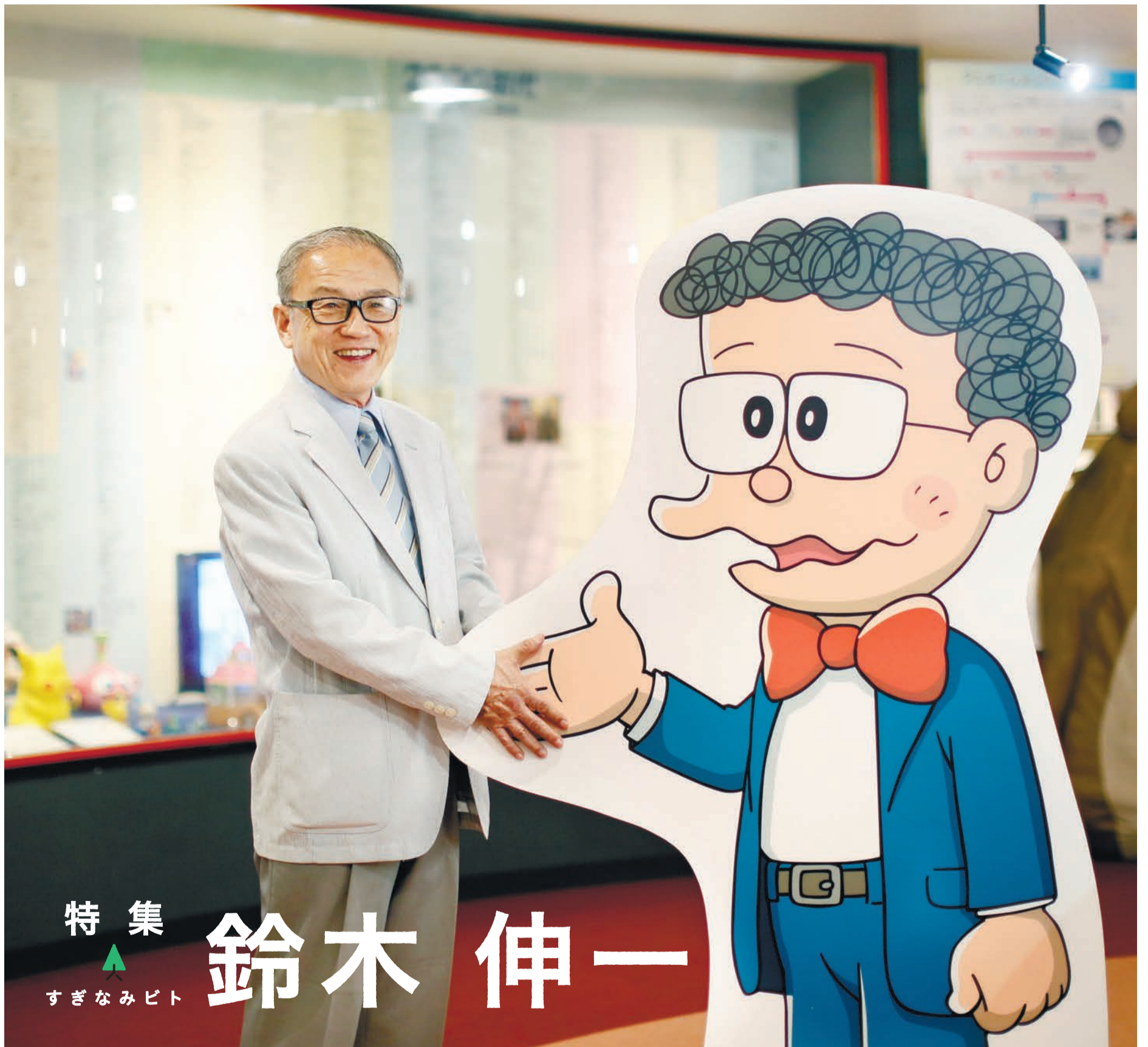
支えあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

{ 8/15 }
平成29年(2017年)
No.2209

アニメ息づくまち、杉並。
少年の夢続く。

アニメの魅力を手感できる施設、杉並アニメーションミュージアム。近年、外国人観光客が大挙して訪れるなど、海外からも注目を浴びています。

館長を務めるのは、60年以上もアニメ制作に携わってきた業界の第一人者、鈴木伸一さん。少年時代、ディズニーアニメに魅せられて以来、「とにかくアニメが大好き」と語る鈴木さんに、アニメ制作に打ち込んできた半生と、日本のアニメに寄せる思いについて伺いました。



特集
すぎなみピト

鈴木伸一

Contents —主な記事—

6 | 自転車の放置禁止区域の変更 7 | すぎなみ地域大学 10~12月開講講座受講生募集 8 | 民営化宿泊施設等をご利用ください 9 | 9月は秋の自殺予防月間

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <http://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📄 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。

僕はアニメに本気で引かれてしまったんです。

漫画とアニメに熱中した青春時代

—アニメーションに携わるようになったきっかけを教えてください。

少年時代にディズニーアニメを見て、アニメが大好きになりました。まだ映画がモノクロだった時代にディズニーアニメは“テクニカラー”（※1）でしたから、本当に素晴らしくて。それを見て以来、僕はアニメに本気で引かれてしまったんです。昭和25年にディズニーの「白雪姫」が日本で初めて公開されたときには、40回も見たんですよ。今でもブルーレイで白雪姫やピノキオなど当時の作品を見ると、あのときに戻った気分になって、必ず最後まで見てしまいます。

—20代前半には、あのトキワ荘に住んでいたそうですね。



若き漫画家たちが集ったトキワ荘。左上から、寺田ヒロオ、赤塚不二夫、安孫子素雄（藤子不二雄A）、鈴木伸一、藤本弘（藤子・F・不二雄）、石ノ森章太郎（敬称略）

僕は漫画家になりたくて、当時、新聞漫画などで活躍していた中村伊助先生（※2）を頼って山口県の下関から上京しました。上京してしばらくは中村先生のお宅に下宿させてもらっていたのですが、その後、僕がよく投稿していた漫画雑誌「漫画少年」の編集部の方に紹介されて、投稿コーナーの選者をしていただいた寺田ヒロオさん（※3）に会いにトキワ荘へ行ったんです。そうしたら、そこに藤子不二雄（藤子・F・不二雄、藤子

不二雄A）さんがいた。それが運命の始まりです。それからすぐに僕もトキワ荘に引っ越して、漫画家のグループ「新漫画党」（※4）に入れてもらって漫画家としての活動をスタートしました。その後、石ノ森章太郎さんや赤塚不二夫さんなど、寺田さんに誘われた若手漫画家が集まってきて、トキワ荘はとてにぎやかになりました。皆同じくらいの年の仲間ばかりで、毎日がすごく楽しかったなあ。

—「漫画の神様」と言われた手塚治虫さんとも、さまざまな交流があったと聞きました。

手塚先生に初めてお会いしたのは、僕がアニメーションを作りたいとトキワ荘を出て、横山隆一先生（※5）が立ち上げた「おとぎプロ」（※6）に入った後のことです。手塚先生は、画風のルーツがディズニーのアニメにあるというくらい根っからのディズニーファンでしたから、ディズニー作品の素晴らしさについて、よく語り合いました。また、手塚先生からお借りしたディズニーアニメのフィルムをおとぎプロに持ち帰り、作画の技術を研究したこともありました。当時、映画館では35mmのフィルムでアニメを上映していましたから、一コマ一コマにどんな絵が描かれているのかがフィルム上で分かるんです。当時はアニメ制作のまとまった資料がなく、そうやって研究するしかなかったのですが、それが本当に楽しくて仕方なかったですね。

—鈴木館長といえば、「ラーメン好きの小池さん」のモデルとしても知られています。小池さんは、どのようにして誕生したのですか。

トキワ荘時代、仲間が僕の似顔絵を描こうとしたのですが、うまく描けなくてグチャグチャな絵になってしまって、皆で大笑いしたことがあったんです。その絵を藤子さんが覚えていて、「オバケのQ太郎」に登場させ

たんですよ。僕は小池さんが大好きですから、彼が漫画に出てくるとうれいんです。

“アニメの聖地”に不思議な思い

—アニメは今や日本の代表的な文化のひとつになりました。

本当にそうですね。外国からこのミュージアムを訪ねてやってくる方も年々増えています。そんな外国からのお客様に「どんな日本のアニメを見ているんですか」と尋ねると、皆さん、日本で現在放映されているものをお願いしていると答えます。今はインターネットがあるので、外国にいても、それほど間を置かずに日本のアニメを見られるということなのでしょう。時代は変わりましたが。

アニメで描かれた場所に国内外から多数の人が訪れて、観光資源や聖地になっているとも聞きますが、これも昔では考えられないことです。アニメに描くストーリーも背景も、それほどリアルになってきたということかもしれません。それは日本のアニメの特色だと言えますが…なんだか不思議ですね。アニメは人間が頭の中で生み出したものですが、そうしたいわばアイデアのようなものが観光資源になっているというのですから（笑）。でも、それはそれで面白い。アニメを好きな人が増えて、どんどんそういう場所に行って楽しんでほしいと思います。



—「アニメと杉並」の今後の可能性をどうぞご覧ください。

なんといってもアニメ制作会社が138（※7）ある、日本最大のアニメ産業集積地です。きっとこれからも杉並は“アニメのまち”として注目され続けると思います。今後さらに制作会社や関連会社が集まって、“アニメのまち”の規模は拡大するかもしれません。

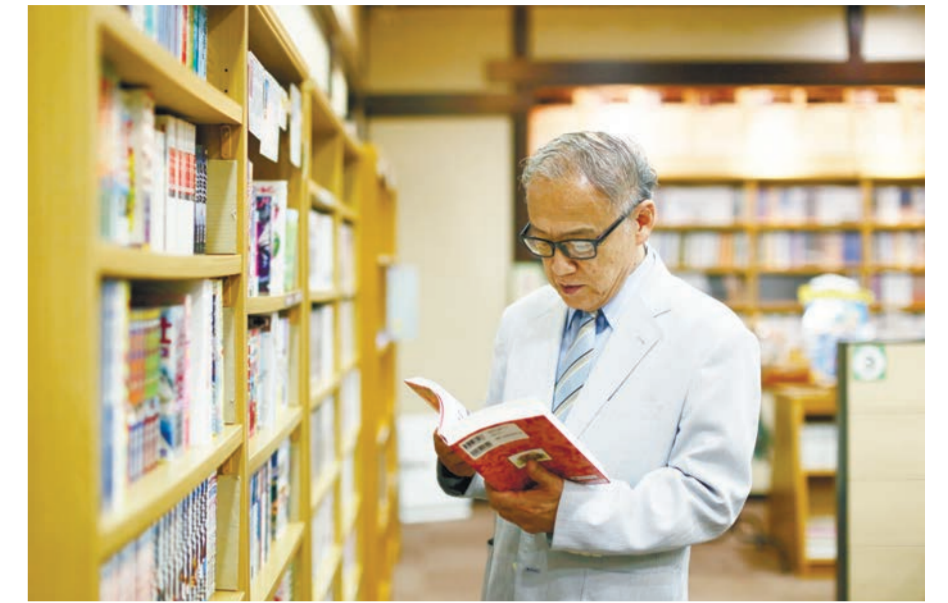
—ミュージアムが、これから目指す方向性を教えてください。

オープンからこれまで、「多くの人にアニメの魅力を知ってほしい」という思いでやってきました。特に伝えなかったのが、自分の描いた絵を動かすことの楽しさです。それを体験して知ってもらいたくてワーク

鈴木さんのアニメヒストリー

The history of Mr. Suzuki's animation life

- 昭和22年 ● 「漫画少年」への投稿に熱中。投稿の常連になる
- 24年 ● 下関の印刷会社に入社
- 25年 ● ディズニーの「白雪姫」封切り。感銘を受け、繰り返し鑑賞する
- 30年 ● 印刷会社を辞めて上京。中村伊助宅での下宿生活を経てトキワ荘に入居。藤子不二雄（藤子・F・不二雄、藤子不二雄A）や石ノ森章太郎と過ごす
- 31年 ● トキワ荘を退居し、おとぎプロに入社。アニメの企画制作に携わる
- 38年 ● スタジオゼロを設立し、「おそ松くん」や「パーマン」、「怪物くん」などの制作に携わる
- 平成17年 ● 杉並アニメーションミュージアム館長に就任



ショップに力を入れてきました。今後はアニメに限らず、絵を描いてハガキを作ったりするなど、さまざまな創作を楽しめる場所にしていければと思っています。今の子どもは絵を描くことに慣れているので、本当に絵が上手です。そんな子どもたちのなかから優秀な制作者が輩出され、日本のアニメをより立てる存在になってくれれば、それほど素晴らしいことはありません。

（※1）テクニカラー：米国企業が開発したカラー映像技術の名称。（※2）中村伊助：漫画家・洋画家。戦後、近藤日出造、横山隆一、杉浦幸雄ら、新聞・雑誌で活躍していた漫画家と「漫画集団」を結成して活動した。（※3）寺田ヒロオ：「スポーツマン金太郎」などスポーツ漫画で人気を博した漫画家。トキワ荘のリーダー的存在だった。（※4）新漫画党：寺田ヒロオが中心となり結成した、新時代の漫画を掲げる若手漫画家グループ。（※5）横山隆一：戦前から新聞に掲載され人気を博した国民的漫画「フクちゃん」シリーズの作者。（※6）おとぎプロ：横山隆一が立ち上げたアニメーション制作会社。「おんぶおぼけ」「ひょうたんすずめ」「インスタントヒストリー」などを制作。（※7）138社：一般社団法人日本動画協会「アニメ産業レポート2016」より。

アニメの街杉並

アニメ史に残る数々の名作が生まれてきた杉並では、街中の至る所でアニメを感じることができます。

ガンダム・モニュメント

「ガンダム」シリーズを手掛けるアニメ制作会社サンライズ本社がある上井草では、ガンダムに会えます。
西武新宿線上井草駅前



©創通・サンライズ

Aさんの庭

「トトロが喜んで住みそうな家」として、宮崎駿監督著「トトロの住む家」で紹介されました。
阿佐谷北5-45-13



杉並アニメーションミュージアム

日本のアニメをさまざまな形で総合的に学べます。今回紹介した鈴木さんが館長を務めています。



鈴木さんが館長を務める杉並アニメーションミュージアムの魅力を16面でチェック！

すぎなみビット

interview

鈴木伸一

プロフィール：鈴木伸一（すずき しんいち）。漫画家・アニメーション作家。昭和8年長崎県生まれ。その他の略歴は、3面「鈴木さんのアニメヒストリー」参照。アニメ制作集団「G9+1」の一員として、現在も新作アニメを制作、発表している。

入り口では、ハクション大魔王とガンダムがお出迎え!



Check Point!



アニメ監督や漫画家のお宝サイン&イラストがびっしりの「サイン柱」は必見ですよ。

遊んで学べる!

杉並アニメーションミュージアム

SUGINAMI ANIMATION MUSEUM



©鈴木伸一

子どもからシニアまで、世代や国籍を超えて日本のアニメを楽しく学べる体験型ミュージアムです。日本のアニメを総合的に紹介している日本で唯一の施設です。

アニメができるまで

監督、作画監督、美術監督の机を再現。またセルアニメーションができるまでの過程を、映像を使って分かりやすく解説。

富野由悠季監督の机の上にはガンダムの絵コンテなどの資料が!



Check Point!

「日本のアニメの歴史」コーナー

日本のアニメの歴史を、年表や画像・映像、フィギュアで分かりやすく紹介しています。放映された作品をはじめ、アニメが社会にもたらした影響など、複合的にアニメ史を学べます。



アニメの原理

アニメーションの原理を体験できる参加型展示です。



アニメライブラリー

アニメに関する映像や書籍など、豊富な資料が並びます。作品だけでなく、クリエイターのインタビュー映像も閲覧できるのは大変貴重。

体験しよう!

声優の仕事に挑戦できる! アフレコ体験コーナー

「鉄腕アトム」の主人公アトムと妹のウランになりきって、画面に表示されるせりふに自分の声をあててみましょう!



アニメシアター

150インチのスクリーンと5.1chサラウンドの迫力で人気のあるアニメ作品や、珠玉の作品を系統立てて上映しています。



デジタルワークショップコーナー

パソコンを使用して、色塗りや編集といったアニメのデジタル制作を体験できます。

●ちょっとしたアニメが作れる! パラパラアニメワークショップ
時午後3時~4時30分(土・日曜日、祝日は午前11時から)



←色を塗ったり、簡単なオチをつけたり…。自由に構成を考えて、自分だけのオリジナルアニメを描いてみよう!



→アニメが描けたら、パソコンに取り込んで動かして確認します。



企画展

年3回、有名な作品、キャラクター、クリエイターに焦点をあてて、その世界を紹介しています。

現在の企画展 9月3日(日)まで

「僕のヒーローアカデミア ~特別課外授業 in 杉並アニメーションミュージアム~」

関連イベントなどの詳細は、同ミュージアムホームページをご覧ください。



©堀越耕平/集英社・僕のヒーローアカデミア製作委員会

杉並アニメーションミュージアム

時 午前10時~午後6時(入館は5時30分まで。月曜日<祝日の場合は翌日>、12月28日~1月4日休館)
場 上荻3-29-5杉並会館3階 問 杉並アニメーションミュージアム ☎3396-1510 他 詳細は、同ミュージアムHP <http://sam.or.jp/> 参照

入館料 無料